

- 近年、科学技術・イノベーションは、激化する国家間の覇権争いの中核となっており、感染症、サイバーテロ等の脅威から国民の安全・安心を確保するためにも不可欠。
- **海外で科学技術への投資が拡大し、産業構造の転換が起きる中で、我が国の研究力及びイノベーション力は相対的に低下。日本の競争力も後退。**

ポストコロナを見据えた技術覇権争い



米国

政府科学技術投資の引き上げ表明 GDP0.7%(約15兆円)→2%(約45兆円)
必要不可欠な産業を支える基盤 技術支援(先端・新興技術の研究開発、医療機器や半導体・通信関連部品など)



欧州

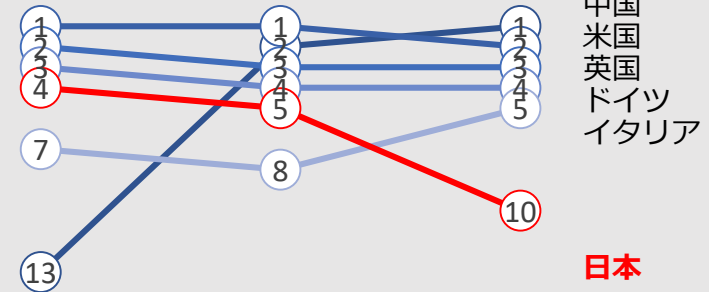
EUでは復興基金を設立(気候変動対策2,680億ユーロ、デジタル移行1,450億ユーロの計4,130億ユーロ(約50兆円)など)
"Horizon Europe"では955億ユーロ(約11.5兆円、2021年からの7カ年)



中国

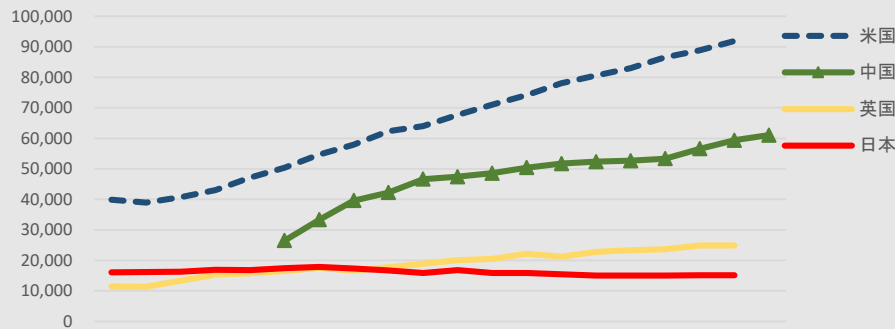
2021-2025年の5カ年計画で、**研究開発費を年7%以上増**
※既に官民の研究開発投資は日本の倍(約41兆円)
先端7分野の明示
(次世代AI、量子情報、半導体、脳科学、遺伝子、臨床医学、宇宙)

研究力の低下 (Top10%論文数の各国順位)



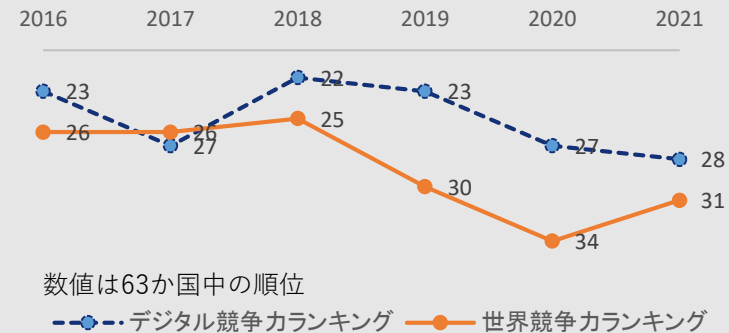
1997-1999 2007-2009 2017-2019 * 分数カウント
出典：科学技術指標2021

高度人材の獲得競争への遅れ (博士号取得者数)



出典：科学技術指標2021

産業構造の転換・競争力の低下



数値は63か国中の順位

—●— デジタル競争力ランキング —●— 世界競争力ランキング

出典：IMD世界デジタル競争力ランキング2021